

活動名	団体名称		子どもを守る目コミュ@文京区
	活動テーマ		子どもの健全な育成を支援する活動
	活動目的		④子どもの居場所づくり
■活動結果(概要)		■実施スケジュール結果	■各スケジュールごとの活動内容
<p>世代を越えた、多くの人たちが関わっている「地域の居場所」を活用しながら「子ども食堂」を行ったことで、地域住民だけでなく、行政、民生児童委員、大学生なども交えた、たくさんの目で子どもたちを見守り、支える仕組みをつくることができた。</p> <p>さらに、ひとり親家庭や不登校など、多様な環境におかれた子どもたちのニーズに合わせた「子ども食堂」や「活動」を行うことで、子どもを中心とするネットワークが広がった。</p>		2017/9/1～ 2018/8/31	①マチイク子ども食堂（さきちゃんち）：毎月第3金曜日 ②みちこはうすのおにぎり会（みちこはうすクラブ・ゲーム部、ゆる育カフェ合同）：毎月第4日曜日 ③料理人たちが作る！子ども食堂ランチ会（文京区男女平等センター）：不定期実施（全4回） ④ゆる育カフェ（だんだんひろば）：毎月第4木曜日 ⑤みちこはうすクラブ・手芸部他：毎週第一日曜日 ⑥ブantan（＊民間の要対協）：不定期（全6回） ⑦文京区の子どもの食堂連絡会：不定期（全4回） ⑧臨時子ども食堂（ひとり親家庭へのお弁当や支援食材の宅配他）：不定期（全6回）
■活動目標	子どもたちのニーズに合わせた「子ども食堂」や「地域の居場所」づくりを行う。		
■長期成果	多様な環境におかれた子どもたちと地域とのつながりを深め、孤立を防ぐ。自助共助の関係の中で、子どもの健全育成と自立をめざす。		
活動風景			
 <p><料理人たちが作る！子ども食堂ランチ会></p>		 <p><みちこはうすのおにぎり会></p>	
 <p><マチイク子ども食堂></p>			
■得られた成果と今後の課題		■受益者や地域社会の変化	
<p>(得られた成果) それぞれの「地域の居場所」は、町会、社協、子育て支援団体などが協力しあって運営しており、すでにネットワークが確立された場所である。そのため、そこで「子ども食堂」を開催することで、多様な環境におかれた子どもたちを自然にそのつながりの中に位置づけることができた。</p> <p>また、「地域の居場所」同士のつながりを生かし、子どもたちが他の「地域の居場所」も利用できるように案内していったことで、他の「子ども食堂」に出入りしたり「多世代サロン」でボランティア活動をするなど、子どもたちの行動範囲に広がりができた。</p> <p>(今後の課題) 今後は、子どもたちの成長とともに変わっていく課題に対してどう対応していくのか、また、保護者の方から寄せられる相談にも対応できるような体制をつくっていききたいと思う。</p>		<p>多様な環境におかれた子どもだけではなく、保護者の方も運営側に入って協力していただける機会が増えた。そのため、たとえば親の入院などの緊急時に、困った時にはおたがいさまだということで、子ども食堂のネットワークを使いながら、微力ながらも対応することができた。</p> <p>また、子ども食堂を継続していることで、地域の方が気になっているお子さんを紹介して下さったりするケースも出てきた。</p> <p>深刻なケースは行政や民生児童委員につなげることで、解決をめざすというスタイルも確立できつつある。地域の課題を見つけやすい環境や、SOSを発しやすいつながりが、少しずつでもできていることを実感している。</p> <p>多くの地域の人たちが、子ども食堂の運営に力を貸して下さるほか、子どもたちに関心を持ってくださることに気づかされることが多く、地域を見直すきっかけにもなった。</p>	
■得られたノウハウの共有・発信			
		<p>子ども食堂や地域の居場所づくりに関わる団体の代表者などで構成された「ブantan（＊民間の要対協）」や、「文京区子ども食堂連絡会」を通して、子どもを見守り支えるために、地域で何ができるのかを話し合っている。</p> <p>また、文京区社協の協力のもと、「学習支援」の団体や「学生ボランティア」との連携も進めている。</p> <p>発信については、個人情報の保護に配慮しながら、フェイスブックやHPを通して、通常の活動の報告をしている。参加者の方からの要望があった場合に限り、子ども食堂の活動を通して見えてきた「ひとり親」の抱える課題について、シンポジウムや勉強会などでスピーチをしたり、街宣で訴えたりする活動もはじめた。なかでも、「障がいを抱えるひとり親」の方からの訴えがあり、「障害年金」と「児童扶養手当」が併給されない問題については、現在、ロビー活動にも参加している。</p>	
<p>(団体名) 子どもを守る目コミュ@文京区 (ホームページ) : https://m.facebook.com/mamorume.bunkyo/</p>		<p>助成金額 250,000円</p> <p>助成期間 H29.9.1～H30.8.31</p>	

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。